

# 病害虫発生予察情報

## 7月月報

令和4年8月26日  
東京都病害虫防除所

### 1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2022年 7月	気温(℃)						降水量 (mm)		日照時間 (h)	
	最高		最低		平均		平年比		平年比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	32.2	3.2	23.3	2.2	27.0	2.4	8.0	13	50.3	129
中旬	29.5	-0.8	22.7	0.5	25.5	-0.3	129.5	254	26.3	56
下旬	33.3	1.9	25.0	1.9	26.6	2.0	18.5	36	92.6	152
平均	31.7	1.4	23.7	1.5	27.1	1.4				
合計							164.2	95	169.2	114

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差(比)：平年値(1991～2020年の平均値)からの差(比)

#### <天候概況>

上旬：期間の初めは太平洋高気圧に覆われて、晴れて気温のかなり高い日があった。期間の中頃以降は湿った空気や上空の寒気の影響を受け曇りの日が多く、雨の降る日もあった。

中旬：低気圧や前線の影響で雨や曇りの日が多く、大雨となる日もあった。

下旬：太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の中頃は気圧の谷や上空の寒気の影響で大雨となる日もあった。

### 2 作物生育概況

#### (1) イネ

生育は概ね順調であった。

#### (2) 野菜類

果菜類：高温と強い日射の影響で、一部で日焼け果の発生が見られた。

葉根菜類：キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、ニンジン等の播種が始まった。

イモ類：サツマイモの生育は順調であった。

#### (3) 果樹

農林総合研究センターの果樹圃場(灰色低地土)におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおりであった。

幸水：概ね順調な生育を示した。天候による生育の遅延等は見られなかった。

#### (4) 茶樹

生育は順調であった。

## 3 病虫害の発生概況

## (1) イネの病虫害

いもち病（平野部）	< 少 >	発生は少なかった。
いもち病（山間部）	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
セジロウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## (2) 果樹の病虫害

## ナシ

黒星病	< 少 >	発生は平年並であった。
黒斑病	< 少 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

## 果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 多 >	フェロモントラップ及び予察灯における誘殺数は多かった。
クサギカメムシ	< 多 >	予察灯の誘殺数は多かった。

## (3) 茶樹の病虫害

カンザワハダニ	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数は平年並であった。
チャハマキ	< 並 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数は平年並であった。
チャノホソガ	< やや少 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	予察灯の誘殺数は少なかった。

## (4) 野菜の病虫害

## トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。

## キュウリ

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。

## ナス

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。

## (5) 花きの病害虫

## シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

## 花き共通の病害虫

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## (6) 植木の病害虫

## 街路樹など

チャドクガ	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

## (7) 島しょの病害虫

小笠原：パッションフルーツ、マンゴーでカイガラムシ類の発生がやや多、かんきつ類でミカンハモグリガ、ルビーロウムシ、アシシロバエミノガ、かいよう病の発生がやや多かった。また、母島ではオクラでヨコバイ類がやや多、ほ場全体的にマイマイ類の発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

## 4 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
コドリンガ	< 誘殺なし >

## 病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、防除のポイントなどをお知らせしています。